

データが拓く途上国情報の新たな地平（ライブラリー・コーナー）

著者	前嶋 淳子
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	210
ページ	70-70
発行年	2013-03
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00003764

データが拓く途上国情報の新たな地平

前嶋 淳子

二〇一二年は、日本でも「データ」への関心が一気に花開いた年となりました。

データを公開し、誰もが自由に利用できるようにする「オープンデータ」への取り組みでは、七月、内閣官房の「オープンデータ戦略」を策定。これを受けるかたちで、同月、オープンデータの環境整備を目指す「オープンデータ流通推進コンソーシアム」が設立されるなど、大きな動きが相次ぎました。他方、ビジネス界では、様々な活動により生み出される大量のデータ、「ビッグデータ」の活用が大きなトレンドとなりました。

そこで、本稿では、途上国研究・開発に関連する分野から、「データ」にまつわる最近の話題をご紹介します。

世界銀行 (World Bank) は、情報公開、透明性、説明責任の強化に向けた取り組みとして、二〇一〇年四月、オープン・データ・イニシアティブを開始し、World Bank Data (表①) を開設しました。この

サイトでは、世界銀行の調査・研究活動から生まれた膨大なデータが提供されています。

世界開発指標 (WDI) などの開発指標や統計をはじめ、開発プロジェクトの詳細や財務情報、また、世界銀行が実施した各種の調査データなども入手することができます。世界銀行は、これ以外にも Open Knowledge Repository (表②) で、調査研究報告書等をクリエイティブ・コモンズのCC-BY (著作権の表示のみを求める) ライセンスで公開するなど、オープン化の施策を積極的に進めています。

同様に、途上国への開発援助の透明性を高めることを目指し、二〇一二年末に公開されたのが、国連開発計画 (UNDP) の Open.undp.org (表③) です。UNDPの六〇〇〇を超える開発プロジェクトの詳細が、「オープンデータ」として公開されています。このサイトでは、データが、シンプルな視覚効果を用いて平明に表示されている

ほか、簡便なデータの利用方法が豊富に提供されています。

透明性の確保という観点からは、各国政府や地方政府が保有する公共情報を「オープンデータ」にしようという、オープン・ガバメント・データの取り組みも順に活発化しています。「開かれた政府」を目指す国際連携 Open Government Partnership (表④) は、二〇一一年九月に

八カ国で設立されましたが、わずか一年余りのうちに、五八カ国が参加するまでになりました。参加国の政府には、情報を「オープンデータ」として提供することが求められています。こうした動きを受けて、各国・地方政府のオープンデータ・ポータルサイトも続々と開設されています。オープンデータ・サイトの一覧 (表⑤・⑥) では、多くの途上国がオープンデータへの取り組みを進めていることがわかります。

各サイトの取り組みは、必ずしも一様ではありませんが、共通するのは、誰もが容易に入手し、思いのままに利用できるデータ、即ち「オープンデータ」の提供です。そ

して、「オープンデータ」の特徴には、情報公開、透明性の確保だけでなく、公開されたデータに関連する分野への多様な人々の参加・関与を促すという意義・効果が見出されています。途上国という文脈からも、少数の専門家だけでは得られない多様なアイデアやスキルを持つ人々を引きつけ、研究・開発の推進に寄与することが期待されています。

それでは最後に、このようなデータを実際に活用している事例をご紹介します。

ビッグデータの分析を用いて、途上国開発の問題に取り組んでいるのが、二〇〇九年に設立された国連の UN Global Pulse (表⑦) です。ここでは、さまざまなデータをリアルタイムに分析・監視することで、途上国にインパクトを与えそうな動きを察知する仕組みの研究が行われています。実用化すれば、迅速な対応が可能となり、甚大な被害の予防や、貧困の削減に役立てられると考えられています。

二〇一二年八月に開設された世界銀行の World Bank Data Viz (表⑧) は、開発

に関するデータのビジュアライゼーション (可視化・視覚化) 作品を集めたサイトです。オープン化の取り組みのなかでは、言語の壁もまた、取り除くべき障壁と捉えられています。しかしながら、データを入手できる日本語のサイトは、まだまだ多くはありません。もし、言語の壁に突き当たってしまったら、このサイトを訪れてみましょう。言葉を超えて情報を伝える「データ」の可能性を感じることができるかもしれません。(まえじま じゅんこ/アジア経済研究所 図書館)

表：本文中で紹介したウェブサイト

(アクセス：2013年1月15日)

①	World Bank Data	http://data.worldbank.org/
②	Open Knowledge Repository	https://openknowledge.worldbank.org/
③	UNDP Open.undp.org	http://open.undp.org/
④	Open Government Partnership	http://www.opengovpartnership.org/
⑤	Data.gov Open Data Sites	http://www.data.gov/opendatasites
⑥	DataCatalogs.org	http://datacatalogs.org/
⑦	UN Global Pulse	http://www.unglobalpulse.org/
⑧	World Bank Data Viz	http://worldbank.tumblr.com/